

一次の文章を読んで後の問一〜十二に答えなさい。

- ① (一人称)として表示される人間は、単に〈話す〉だけの主体ではない。〈話す〉ということの前提として、それは(①知覚する)、〈認知する〉主体でもある。 A 話者が自らの知覚、認知の<sup>a</sup>営みを本来は他者なる存在に投影したとしたら、そこには〈主客合体〉と呼ばれるような状況が演出されることになる。そしてこのような場合、日本語では主語の表示が義務的とされないとすることが言語レベルで重要な媒介役を果たすことになる。時には、<sup>②</sup>それが一種の美的効果を伴っていると受け取られる場合すらあるのではないかと思われる。
- ② 一つの具体的な例として、<sup>③</sup>川端康成の『雪国』の冒頭の文を取りあげてみよう。日本語らしい文として、よく話題とされる表現である。
- 国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。

X — 想像される状況は、多分こういふものであろう。

- ③ A このような状況を言語で伝えようとしたら、どのような視覚でその状況をとらえ、その状況に関わるどういふ側面を言語で明示的に表現し、どういう側面を表現しないままに置くかということについては、ほとんど無限の可能性が考えられよう。『雪国』の英訳者や<sup>※</sup>独訳者が選んだ言語化の仕方は、次のようなものである。

The train came out of the long tunnel into the snow country. (E. Seidensticker)  
Als der Zug aus dem langen Grenztunnel herauströsch, lag das Schneeland. (O. Benl)

訳文から得られる印象は、<sup>④</sup>川端の原文の与える印象とはかなり違うというのが直観的な感じであろう。同じ状況が言語化されているのであろうが、<sup>⑤</sup>言語化の仕方が異なるために、ことばを媒介として生み出されたイメージも異なるものになっている。

- ④ もっとも<sup>b</sup>イチジルしい違いは、二つの訳文ではいずれも〈汽車〉を意味する語 (the train, der Zug) が明示的に出されることによって、主人公の乗っているらしい<sup>⑥</sup>汽車に焦点の合わされたイメージ構成になってしまったことであろう。以前にNHK教育テレビ「現代ジャーナル——日本語」というシリーズでこの川端の原文と英訳を取りあげた折、担当の古屋アウンサーがNHK国際部<sup>c</sup>キンムの英語の話し手数人(いずれも日本語の<sup>※</sup>堪能な人たち)に英訳の方の文を見せ、そこから読みとれる状況を絵に描いてもらうということをした。ほぼ共通して出てきたのは、向こうの山の端から姿を現してきた汽車という構図であった。英訳の文がそのようなイメージを共通に<sup>※</sup>喚起するとするならば、おそらくこの文の語り手自身が言語化に際して頭の中に描いていたイメージもそのようなものであったのだろう。語り手は言語化している状況に身を置いていない。語り手は見る〈主体〉、汽車を中心とした状況は見られる〈客体〉である。見る者とみられる物という関係で、〈主体〉と〈客体〉との対立は<sup>d</sup>センメイである。

- ⑤ 日本語の原文から受ける印象は、これとは明らかに違う。主人公は薄暗くてせまい車内において黒くすすけたトンネルを通ってきた。それが突然明るく視野の拡がった雪の銀世界に出た。多分、日本語の平均的な話し手が読みとるイメージというのはそのようなものである。しかも、このように読みとりながらいつの間にか、読者は自分自身もまるで主人公と同じ車内で——B、自分自身が主人公と一体化してしまつて——主人公と同じ経験をしているかのような想いを抱くようになる。すぐ気がつく通り、日本語の原文は情景の<sup>e</sup>描写としてばかりでなく、誰かが心の中の想いを述べた文としても受け取れる。想いを述べているのは誰か。当然、何よりもまず主人公であろう。C、それはごく自然に、主人公と同じ経験をし、同じ思いを抱いている読者という方向へずれて行く。そうなれば、語り手も自らの語る状況の一部になってるのである。見る、そして語る〈主体〉と見られる、そして語られる〈客体〉という対立は、<sup>⑦</sup>そこには存在しない。<sup>⑧</sup>〈主客合体〉の状況がことばを通じて演出されるわけであり、そのような状況の演出に関しては、日本語において主語——右で論じてきた例について言えば、行為の主体に相当するもの——を義務的に明示しなくてよいということが深く関わっているということが十分読みとれよう。

(池上嘉彦『日本語と日本語論』)

(注) 媒介……………両方の間に入ってなかだちをすること。

独訳者……………ドイツ語に翻訳した人。

堪能……………ある技艺や学芸などに熟練していること。

喚起……………呼び起こすこと。

問一 二重傍線部 a～e について、漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。

問二 傍線部①「知覚」とは具体的にどういふ行為か。その行為としてふさわしくないものを、次の(ア)～(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 熱い

(イ) 聞く

(ウ) おいしい

(エ) 走る

問三 空欄 **A**、**B**、**C** に当てはまる言葉として適当なものを、それぞれ次の (ア) ～ (カ) から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) あるいは (イ) たとえば (ウ) なぜなら (エ) しかし (オ) もし (カ) さて

問四 傍線部②「それ」が指す内容を、本文中から二十字以上二十五字以内で抜き出し、最初と最後の五字で答えなさい。

問五 傍線部③「川端康成」の『雪国』以外の作品として、適当なものを次の (ア) ～ (エ) から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 人間失格 (イ) 高瀬舟 (ウ) 山の音 (エ) 草枕

問六 次の (ア) ～ (エ) の一文を並べ替えて、空欄 **X** に入る文章を作るとき、三番目になるものはどれか。記号で答えなさい。

- (ア) それも、トンネルに入ると、機関車の吐く煙のすが入ってこないように窓を閉めていなくてはならなかった頃のものであろう。  
(イ) 日本語の平均的な話し手にとっては、描かれている状況を想像するのは困難でない。  
(ウ) まず、主人公は汽車に乗っている。  
(エ) それがようやくトンネルを出て、一面雪に覆われた銀世界に出てきたところなのだ。

問七 傍線部④「川端の原文の与える印象とはかなり違う」を文節に分けた場合、何文節となるか。漢数字で答えなさい。

問八 傍線部⑤「言語化の仕方」とはどのようなことか。その説明として適当なものを、次の (ア) ～ (エ) から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) ある状況を視覚的に捉え、明示的、想像的にも捉えることで、無限の可能性をもったことばにすること。  
(イ) ある状況について、表現する部分と表現しない部分をあらゆる可能性の中から選択して、ことばにすること。  
(ウ) 一つの状況の中から、汽車を意味する語を明示して、普通とは異なったイメージとして、ことばにすること。  
(エ) 一つの状況について、一部分は表現しないままに置くことで、具体的なイメージを持ったことばにすること。

問九 傍線部⑥「汽車に焦点の合わされたイメージ構成」を言い換えた内容を、同じ段落から二十字以上二十五字以内で抜き出し、最初と最後の五字で答えなさい。

問十 形式段落 **4** における〈主体〉と〈客体〉を言い換えたものの組み合わせとして適当なものを、次の (ア) ～ (エ) から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 〈主体〉——古屋アナウンサー 〈客体〉——英語の話し手  
(イ) 〈主体〉——日本語の『雪国』の文 〈客体〉——英訳された『雪国』の文  
(ウ) 〈主体〉——文の語り手自身 〈客体〉——『雪国』原文から読み取れる状況  
(エ) 〈主体〉——英訳文の語り手 〈客体〉——『雪国』英訳文から読み取れる状況

問十一 傍線部⑦「そこ」の指す内容を、本文中から六字で抜き出して答えなさい。

問十二 傍線部⑧「主客合体」の状況とはどういうことか。その説明として適当なものを、次の (ア) ～ (エ) から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) ことばを通じて演出された状況によって、小説の中の主人公がまるで現実世界の客人のようになってしまうこと。  
(イ) 語る／語られる、という対立を超えて、小説の主人公が、ことばと一体化したイメージとなってしまうこと。  
(ウ) 日本語表現によって、小説の主人公の経験や感じている思いが、まるで読者自身のもののように受け取れてしまうこと。  
(エ) 日本語の訳文によって、小説の主人公の思いが、小説の情景描写と一体化したものと受け取れてしまうこと。

二 次の文章を読んで、後の問一〜十に答えなさい。

今は昔、陽成院<sup>①</sup>おりぬさせたまひての御所は、大宮よりは北、西洞院よりは西、油小路よりは<sup>②</sup>東にてなんありける。

そこは物すむ所にてなんありける。大きな池のありける釣殿に、番の者寝たりければ、夜中ばかりに、細々とある手にて、<sup>③</sup>この男が顔をそとそとなでけり。<sup>④</sup>むづかしと思ひて、太刀を抜きて、片手にてつかみたりければ、浅黄の上下着たる翁の、ことのほかに物わびしげなるが言ふやう、我はこれ昔住みし主なり。浦島が子の弟なり。いにしへより<sup>⑤</sup>この所に住みて千二百年になるなり。願はくは許したまへ。ここに社を作りていはひたまへ。さらばいかにも守りたてまつらんと言ひけるを、「我が心ひとつにてはかなはじ。<sup>⑥</sup>このよしを院へ申してこそは」と言ひければ、「<sup>⑦</sup>にくき男の言ひ事かな」とて、三度上さまへ<sup>⑧</sup>蹴上げ蹴上げて、なへなへくたくたとなして、落つる所を口をあきて食ひたりけり。なべての人ほどなる男とみるほどに、おびたたく大きになりて、この男をただ一口に食ひてけり。

〔語注〕

陽成院おりぬさせたまひての御所……陽成天皇が退位なさってから住んだ御所

〔宇治拾遺物語〕「陽成院ばけ物の事」

物すむ所……妖怪や鬼が住む所

釣殿……寝殿造の南に位置する建物

そとそと……そおつとそおつと

浅黄の上下着たる翁の、ことのほかに物わびしげなる……薄い藍色の上着と袴を着た、とてもみすばらしい翁

浦島が子……浦島太郎

社を作りていはひたまへ……神社を作つて神として祭つてください

いかにも守りたてまつらん……どうにでも守護してさしあげよう

我が心ひとつにてはかなはじ……自分一人だけでは決められない

なべての人ほどなる……普通の人ぐらいの

問一 傍線部①「おりぬさせたまひて」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで答えなさい。

問二 傍線部②「東にてなんありける」の文末は、「係り結び」によつて変化している。このような文末変化が認められるものとして、適切なものを次の(ア)〜(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 師につきて僧となるこそ尊きことなれ。

(イ) 学士を変へて、琴の師を仕うまつれ。

(ウ) あはれに悲しく言ひつづけ恋ひたてまつる。

(エ) 父母亡びて、むなしき宿をのみ見る。

問三 傍線部③「この男」とは具体的に誰のことか。次の(ア)〜(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 陽成院

(イ) 番の者

(ウ) 翁

(エ) なべての人ほどなる男

問四 傍線部④「むづかしと思ひて」の解釈として適当なものを、次の(ア)〜(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

(ア) むづかしいと思つたけれど

(イ) にくらしいと思つたけれど

(ウ) 見込みがないと思つて

(エ) 気持ちが悪いと思つて

問五 傍線部⑤「この所」とは具体的にどこか。次の(ア)〜(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 大宮

(イ) 西洞院

(ウ) 釣殿

(エ) 社

問六 傍線部⑥「このよしを院へ申してこそは」の解釈として適当なものを、次の(ア)〜(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

(ア) このすばらしさを陽成院はご理解なさるだろう。

(イ) この理由を陽成院が申し上げるとすれば。

(ウ) このことを陽成院に申し上げて何とかしよう。

(エ) 生きていれば陽成院へ必ず伝えてください。

問七 傍線部⑦「にくき男の言ひ事かな」の発話者として、適当なものを次の(ア)〜(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 陽成院

(イ) 番の者

(ウ) 翁

(エ) なべての人ほどなる男

問八 傍線部⑧「蹴上げ蹴上げて」とあるが、なぜこのようなことをしたのか。適当なものを次の(ア)〜(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 翁の願いを男がすぐに聞き入れようとしなかったから。

(イ) 男に元気がなく、翁への敬意が伝わらなかったから。

(ウ) 男が太刀を抜いて、翁を殺そうとしていたから。

(エ) 翁の本当の願いは、男を一口で食べることにあったから。

問九 この文章には、発言を示すかきかっこ(「」)が書かれていない部分がある。その発言部分を抜き出し、最初と最後の五字で答えなさい。

問十 この文章は、鎌倉時代に成立した説話集の『宇治拾遺物語』におさめられている。同じジャンルの作品を、次の(ア)〜(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

(ア) うつほ物語

(イ) 源氏物語

(ウ) 古今和歌集

(エ) 今昔物語集

三 四字熟語や慣用表現に関する次の問いに答えなさい。

問一 次の①、②について、それぞれ（ ）に共通した漢数字を入れて、四字熟語を完成させなさい。

- ① ( ) 衣帯水      首尾 ( ) 貫      ② 千紫 ( ) 紅      森羅 ( ) 象

問二 次の①～③の四字熟語には、それぞれ一字の間違いがある。その一字を探し、正しい漢字に直してそれぞれ答えなさい。なお、一字の漢字で解答すること。

- ① 絶対絶命      ② 五里夢中      ③ 危機一発

問三 次の①～③の語と同じ関係になるように、（ ）に当てはまるものとして適当なものを（ア）～（エ）からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 豆腐——かすがい      /      ぬか——（ ）      （ア）くい      （イ）くぎ      （ウ）かなづち      （エ）のこぎり  
② 馬——合う      /      意気——（ ）      （ア）揚揚      （イ）阻喪      （ウ）投合      （エ）消沈  
③ 月——すっぽん      /      ちょうちん——（ ）      （ア）釣りがね      （イ）行列      （ウ）月夜      （エ）灯台

四 文法に関する次の問いに答えなさい。

問一 次の傍線部と意味・用法が同じものを次の（ア）～（エ）からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 貨物船で南米に行った。      （ア）それで彼はどうしたの？      （イ）病気もなく八十三歳で死んだ。  
（ウ）チーム代表を多数決で決める。      （エ）西院駅でたまたま出会った。

- ② 二階の階段から降りる。      （イ）水は水素と酸素からなる。  
（ア）自宅から自転車で通学する。      （エ）ささいなことから病気になる。

- ③ まったくお金が足りない。      （イ）あるはずのコップがない。  
（ア）きたない手で食品をさわる。      （エ）おおかみなんてこわくない。

- ④ 先生のように英語を話せたらいいのに。      （イ）私の発音と同じように言ってください。  
（ア）合格できるように神に祈る。      （エ）忘れないようにメモしておこう。

問二 次の傍線部を、指定された敬語を用いる表現に改めるとき、適当なものを（ア）～（エ）からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

① 課長は、何を食べるか。 【尊敬語】

- （ア）食べますか      （イ）いただきますか      （ウ）お食べしますか      （エ）召し上がりますか

② 先生に会う。 【謙譲語】

- （ア）お目にかかる      （イ）会いなさる      （ウ）会います      （エ）お会いになる

③ 特別賞をもらう。 【謙譲語】

- （ア）差し上げる      （イ）いただく      （ウ）たまわる      （エ）もらいます

④ 会長は立派な人だ。 【丁寧語】

- （ア）お方である      （イ）お方でいらっしゃる      （ウ）お方でございます      （エ）お人だろ

⑤ 三十分後に、社長がここに来ると存じます 【尊敬語】

- （ア）参る      （イ）うかがう      （ウ）いらっしゃる      （エ）来ます

# 解 答 用 紙

## 国 語

問題番号	答の欄	採点欄	問題番号	答の欄	採点欄	
一	問一	a いとな b 著 c 勤務 d 鮮明 e びょうしゃ	2	二	問五 ア イ <input checked="" type="radio"/> ウ エ 2	
	問二	ア イ ウ <input checked="" type="radio"/> エ	2	問六 ア イ <input checked="" type="radio"/> ウ エ 3		
	問三	A ア イ ウ エ <input checked="" type="radio"/> オ カ 2	2	問七 ア イ <input checked="" type="radio"/> ウ エ 3		
		B <input checked="" type="radio"/> ア イ ウ エ オ カ 2	2	問八 <input checked="" type="radio"/> ア イ ウ エ 3		
		C ア イ ウ <input checked="" type="radio"/> エ オ カ 2	2	問九 <small>初め</small> 我 は これ 昔 <small>終わり</small> て ま つ ら ん 3		
	問四	<small>初め</small> 日 本 語 で は <small>終わり</small> と い う こ と 3	3	問十 ア イ ウ <input checked="" type="radio"/> エ 2		
	問五	ア イ <input checked="" type="radio"/> ウ エ 2	2	三	問一 ① 一 2	
	問六	<input checked="" type="radio"/> ア イ ウ エ 2	2		問一 ② 万 2	
	問七	( 六 ) 文 節 2	2		問二 ① 体 2	
	問八	ア <input checked="" type="radio"/> イ ウ エ 3	3		問二 ② 霧 2	
	問九	<small>初め</small> 向 こう の 山 <small>終わり</small> と い う 構 図 3	3		問二 ③ 髪 2	
		問十	ア イ ウ <input checked="" type="radio"/> エ 2		2	問三
問十一	日 本 語 の 原 文 2	2	② ア イ <input checked="" type="radio"/> ウ エ 2			
問十二	ア イ <input checked="" type="radio"/> ウ エ 3	3	③ <input checked="" type="radio"/> ア イ ウ エ 2			
二	問一	おりいさせたまいて 2	2		四	問一 ① ア イ <input checked="" type="radio"/> ウ エ 2
	問二	<input checked="" type="radio"/> ア イ ウ エ 2	2			問一 ② <input checked="" type="radio"/> ア イ ウ エ 2
	問三	ア <input checked="" type="radio"/> イ ウ エ 3	3			問一 ③ ア イ ウ <input checked="" type="radio"/> エ 2
	問四	ア イ ウ <input checked="" type="radio"/> エ 3	3			問一 ④ ア <input checked="" type="radio"/> イ ウ エ 2
				問二	① ア イ ウ <input checked="" type="radio"/> エ 2	
				問二	② <input checked="" type="radio"/> ア イ ウ エ 2	
				問二	③ ア <input checked="" type="radio"/> イ ウ エ 2	
				問二	④ ア イ <input checked="" type="radio"/> ウ エ 2	
				問二	⑤ ア イ <input checked="" type="radio"/> ウ エ 2	

50

50

受験番号		名前		得点	
------	--	----	--	----	--